



さあゴールデンウィークは 宇根山天文台へ出かけよう!

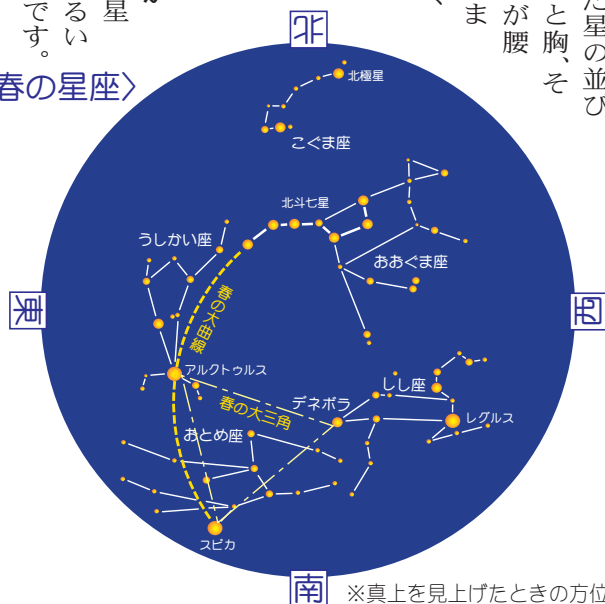


宇根山天文台だより ★2

日差しが暖かく心地よい5月、標高699メートルの宇根山に建つ天文台から見渡せる家族旅行村は、毎年カラフルなキャンブメントでにぎわいます。よく晴れた日は、四国山脈まで広がる視界と瀬戸のしまなみの景色が最高です。バルコニーに出て双眼鏡をのぞくと「えっ! あんなに遠くまで見えるの?」と時間のたつのも忘れて見入ってしまう。大自然の中でゆったりとしたひとときと、昼間の宇根山天文台を楽しんでください。

夜は私たちと一緒に春の星座めぐりをしましょう。南の空には、しし座があります。しし座は、クエスチオンマーク(?)を裏返した星の並びが目印で、この部分が頭と胸、その東に続く三角形の並びが腰としっぽの部分に当たります。心臓のあたりに輝く明るい星は一等星レグルスです。しっぽには、二等星デネボラが輝いています。おとめ座はY字形を横にしたような星座で、一段と明るい星が一等星スピカです。うしかい座は熨斗のような形の星座で、オレンジ色に輝く明るい星が一等星アルクトウルスです。

〈春の星座〉



スピカとアルクトウルスを結んだ曲線の先が北斗七星のひしゃくの柄の部分につながり、春の大曲線と呼ばれています。周りの暗い星も合わせると、**おおぐま座**が出来上がります。北斗七星は、おおぐま座の胴体としっぽの部分を作っています。北の空でじつと動かず輝いている星が北極星です。この北極星をしっぽの先にして、空をぐるぐると回っているのが**こぐま座**です。おおぐま座とこぐま座の間にはとても悲しい物語があるので、この続きは宇根山天文台のプラネタリウムでお話することにししましょう。

さあ今年のゴールデンウィークは宇根山天文台へ出かけませんか。スタッフ一同、皆さんを待っています。

※真上を見上げたときの方位です。

宇根山天文台

標高699メートルの備南最高峰宇根山に建つ天文台。60cmの大型反射望遠鏡や屈折望遠鏡、プラネタリウムなどを備え、スターウォッチングを楽しめます。

所在地 久井町吉田370番地29

入館料 大人310円、中高生210円、小学生100円

※小学生未満、身体障害者手帳・療育手帳提示者は無料です。

※団体30人以上は割引があります。

開館日・開館時間

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

● 10:00~22:00 ● 10:00~17:00
● 18:00~22:00 ● 休館

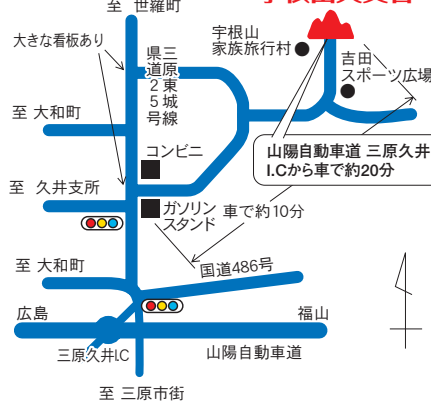
こどもの日無料開放

とき 5日(火)10時~17時、19時~22時

内容 昼=春の星座のプラネタリウム、夜=春の大三角、春の大曲線、土星の観望会

入館料 中学生以下無料、大人310円、高校生210円

宇根山天文台



問い合わせ先 青少年女性課(☎0848⑥9234)、宇根山天文台(☎0847②7145)